

令和4年度 マイスター・ハイスクール事業中間成果発表会

北海道静内農業高等学校

マイスター・ハイスクールCEO 桑名真人

6月28日(火)フランスからの留学生とイチゴ大福作りの一コマ

はじめに



静内農業高校



二十間道路桜並木
(日本のサクラ100選)



優駿の里
(日本一の軽種馬生産)



日本で唯一の軽種馬生産

生徒数(令和4年4月現在)

	食品科学科	生産科学科	合計
1学年	21	38	59
2学年	18	24	42
3学年	24	16	40
合計	63	78	141
日高管内出身生徒	62	30	92
道内出身生徒	0	22	22
道外出身生徒	1	26	27

- 1 令和4年度事業計画書に基づき、実施した取組内容（進捗状況）やその成果、課題となっていること、これらを踏まえ、令和5年度どのように取り組む予定か

令和4年度の事業計画

- (1) 専門的知識・技能を有する職業人材を活用した講義及び実践的研修
- (2) 研修(ICT、IoT を活用している農業施設及び農業機械を実地視察、研修)
- (3) 施設見学及び実習など施設・設備の共同利用(産業界, 農業関連施設、大学等)
- (4) 馬の仕事に必要な技術・資質が分かる達成表(『ホースマン・レベルアップ・チャート』)の作成
- (5) 「うまキッズ探検隊(仮称)」を企画し、子どもに馬の魅力を伝えるイベントを実施
- (6) 産業界等と連携した食品に関する新たな商品開発・販売の基礎研究
- (7) 遠隔システムを活用した海外の学校との交流
- (8) キャリア・パスポートの活用(指定期間において継続して活用)
- (9) 教育課程の刷新内容等

事業計画と担当部門

	学科別事業			学科共通事業			進路指導
	食品科学科	生産科学科 園芸コース	生産科学科 馬事コース	Eコマース	英語教育	特別講演	
①職業人材による講話	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
②ICT、IoTの研修	○	◎	◎	○	◎	◎	
③施設見学及び実習	◎	◎	◎				
④ホースマンヘルプアップ ファートの作成			◎				
⑤馬キッズ探検隊			◎				
⑥商品開発・販売の基礎研究	◎			○			
⑦海外の学校との交流	○	○	○		◎		
⑧キャリア・パスポートの活用	○	○	○				◎

食品科学科



JFSM様による食品の衛生
に関する授業



雪印メグミルク様による
商品開発の授業(フレー
バー比較実習)



国分北海道様による食品
流通に関する授業

生産科学科園芸コース



デルフィニウム栽培農家
における視察研修



花・野菜技術センター様
による鉢花栽培の学習



農業改良普及センター様
によるGAPに関する授業

生産科学科馬事コース



JRA日高育成牧場における
馬の調教に関する実習

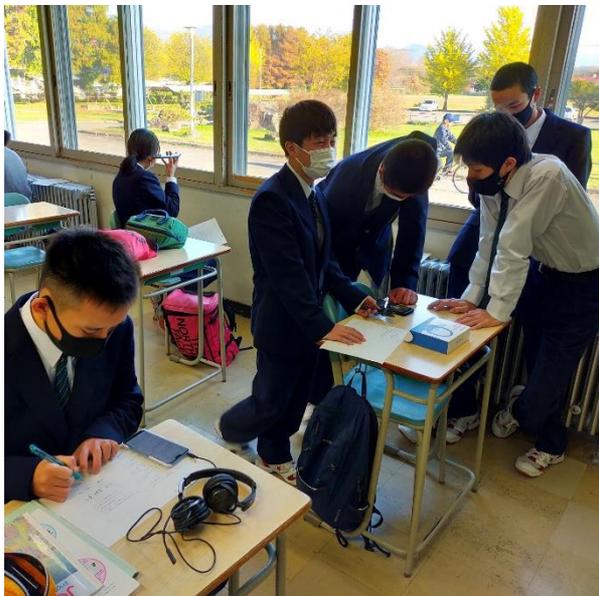


競走馬(当歳馬)の販売実習



北里大学様による馬体の
3D測定に関する実習

英語科



ビデオメッセージアプリ
を活用した海外の学校と
の交流



留学生と日本の伝統的食文
化を学ぶ調理実習



ALTと留学生による実践的
な英語学習の実践

Eコマース

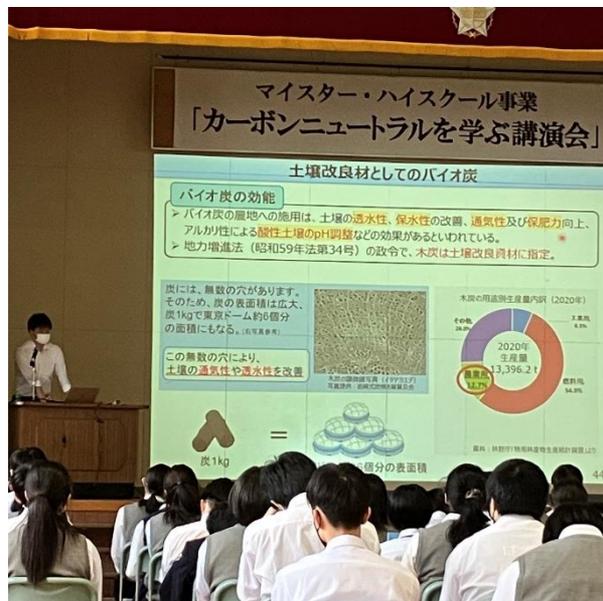


ヤフージャパン様によるインターネットショッピングサイトの開設に関する学習

特別講演



NTTドコモ様によるスマート農業に関する講演会



経済産業省北海道経済産業局様によるカーボンニュートラルに関する講演会



北海道放送様による農業の魅力発信に関する講演会

令和4年度の事業実施状況

(10月11日現在)

事業数		計画	実施	未実施	中止	実施率
学科別	食品科学科	36	12	23	1	34%
	生産科学科 馬事コース	25	10	15	0	40%
	生産科学科 園芸コース	30	21	9	0	70%
学科共通	e コマース	17	11	6	0	65%
	英語学習	9	5	4	0	56%
	講演	5	3	2	0	60%
合計		122	62	59	1	51%

※実施率 = 実施数 ÷ (計画数 - 中止数) × 100 で計算

令和4年度の取組状況

マイスター・ハイスクールビジョン

静内農業高校における人材育成計画の概要

- ア 高度熟練技能者による指導や企業等と連携した商品開発や軽種馬生産など、地域や産業界と連携した実践的・体験的な学習活動の推進及び学校設定科目の設定
- イ プロジェクト学習を中核とした教科等横断的な地域課題探究型の学習活動の推進
- ウ デュアルシステムを活用した地域の企業等と連携したキャリア教育の充実
- エ 地域や小・中学校と連携した教育活動など、異年齢集団による活動の推進
- オ オンライン授業や実験施設を利用した高度な実験・実習など大学等との連携・協働
- カ 農業経営のグローバル化等に対応するためのeコマースの活用や英語教育の充実

地域で実践、地域と実践!! 静農版プロジェクト学習

育成を目指す資質・能力
自ら問題を発見し、筋道を
立てて考えたり、試行錯誤
しながら問題を解決する力

プロジェクト学習

- ・地域の課題解決に取り組む
- ・地域と共同して取り組む
- ・専門的職業人材と
連携して取り組む



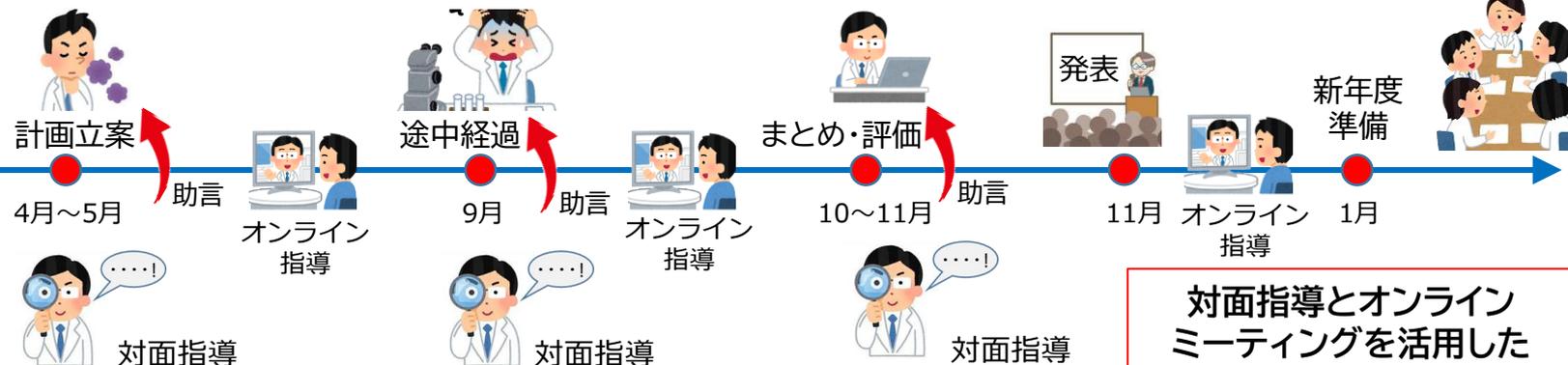
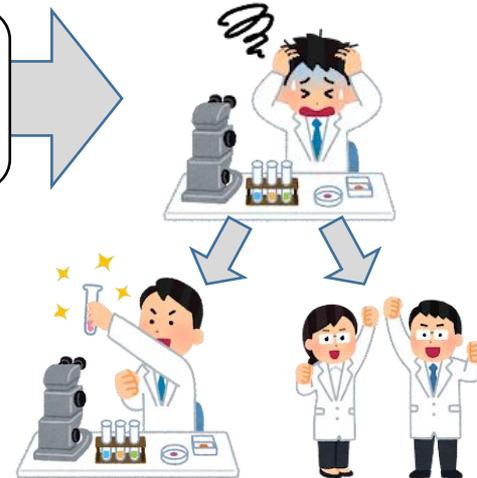
産業現場の第一線で
活躍されている企業
の社員や農業関係機
関からの指導・助言

専門的知識・技能を有する職業人材



未来は、ミカタの中にある。
雪印メグミルク

生徒の学習活動



対面指導とオンライン
ミーティングを活用した
ハイブリット指導

商品開発に関する報道(動画)

5:10

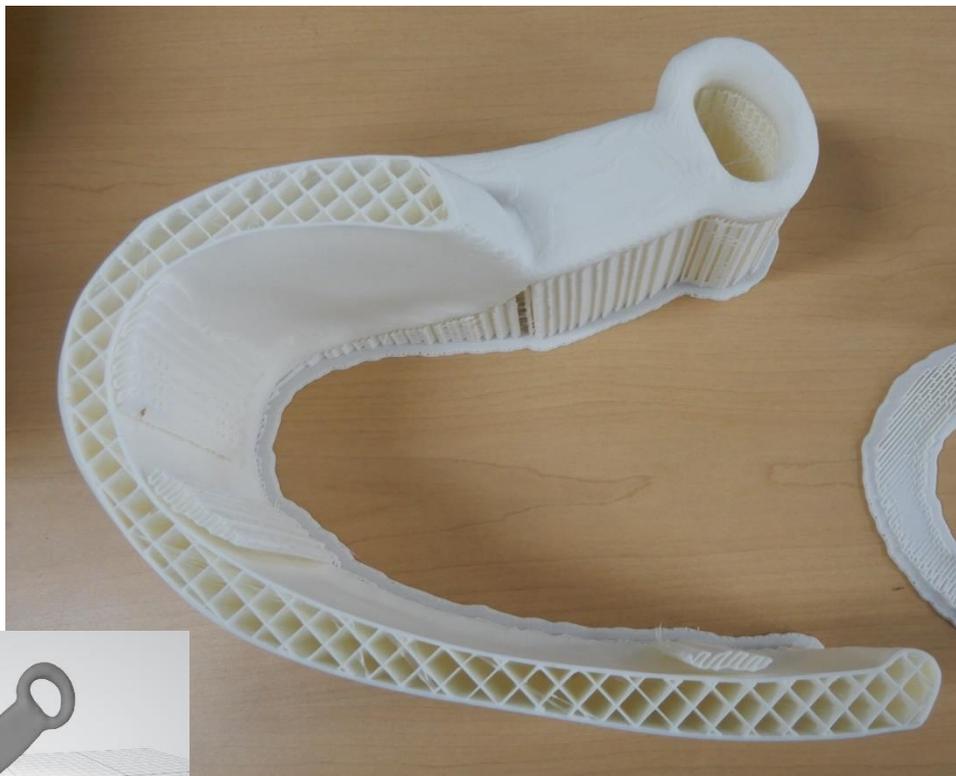
ACT for

HOKKAIDO

いま、できること、全力で



工業分野の試験研究機関との連携



↑3Dプリンタによる制作状況

←3Dスキャンした画像

北海道立総合研究機構
ものづくり支援センター
との連携



3Dプリンタの活用



障害者や子ども向けの
鑑の開発

食品、園芸、馬産業の即戦力 ～デュアル派遣実習の充実～

従来からの取組

生産科学科

- ・地元の牧場、農家での実践的な研修
- ・1次産業を担う人材の育成

デュアル派遣実習とは、産業界と専門高校等とが連携をとりながら双方にとってメリットがあるように協同で人材を育成する教育システムのことです。



今年度からの取組

生産科学科

- ・地元の牧場、農家での実践的な研修
- ・1次産業を担う人材の育成

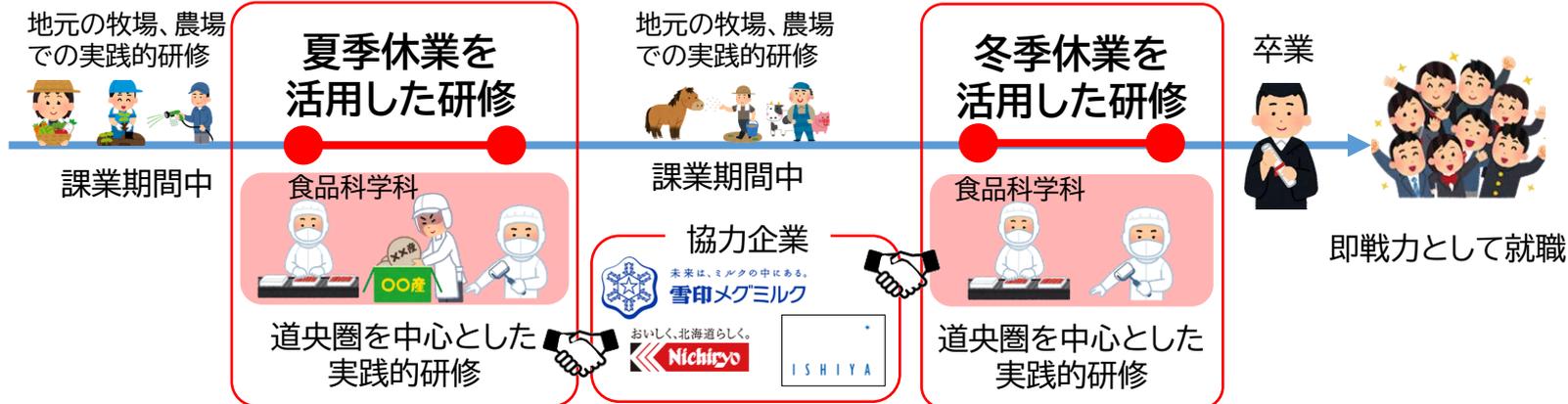


食品科学科

- ・長期休業を活用し道央圏での実習
- ・食産業を担う人材の育成



地域産業の即戦力



長期休業を活用したデュアル派遣実習 (食品科学科)



石屋製菓様



雪印メグミルク様



日糧製パン様



テイエイ様

実習時の様子

石屋製菓様



- ・ 会社概要の学習

日糧製パン様



- ・ 製造実習前の衛生管理の学習

雪印メグミルク様



- ・ 雪印メグミルク様、乳業の歴史の学習

生徒の感想

石屋製菓様



- コロナの影響に負けない心の強さを社長様から感じました。
- 大手企業である石屋製菓様で実習できたことはとても学びのある一日でした。

日糧製パン様



- 普段、白衣の埃除去や手指の消毒をなんとなくやっていたが、日糧製パン様に来てその徹底ぶりに圧倒されました。
- メロンパンの成形は2層になっていてとても難しかったです。

雪印メグミルク様



- 雪印メグミルク様や乳業の歴史がよくわかりました。
- 採用試験のこともお話できて、受験したいという思いがとても強くなりました。

生徒の感想

テイエイ様(牛削蹄業)



「今回初めてプロの削蹄技術を見ました。1頭にかける時間がとても短く、素早い作業に衝撃を受けました。将来就職できるように日頃の勉強を大切にしようと思います。」

「及川様と牧場主の許可をいただき初めて削蹄をさせていただきました。少し怖かったが、優しく教えていただき楽しく作業できました。」

「事務所がとてもきれいでした!」

フランスからの留学生受け入れ

関係団体、個人

〈受け入れ経費の助成〉

北海道農業開発公社

静内ロータリークラブ

〈滞在期間中のプログラム作成〉

谷岡牧場様



フランス週間(6月27日~7月3日)



歓迎式



模擬セリの学習



3学年と記念写真



イチゴ大福の作成



桜岡小学校での交流



お別れ会

生徒の感想

- 留学生が来てくれたおかげで英語を身近に感じることができた。
- フランスでも日本のアニメがはやっているんだなと思った。
- 日本と違う文化を知り、もっと詳しく外国の文化を知りたいと思った。

成果

- ①プロジェクト学習の推進や、食品科学科における長期休業を活用したデュアル派遣実習など、企業や団体と連携した取組の充実と改善によって、生徒の主体的な学びを支援できた。
- ②留学生の受入など英語教育の充実を図り、農業経営のグローバル化に対応する人材育成プログラムの充実を図ることができた。
- ③高度熟練技能者による指導や地域、産業界と連携した実践的・体験的な学習活動を推進できた。

課題

- ①当初の計画として事業を的確に実施するとともに、食品、園芸、馬事を中心に3年間の指定事業として、適切に評価を行い人材育成システムの検証を行う必要がある。
- ②指定期間終了後も、この取組を同様の水準で維持していけるようにするため、2年間の経験を踏まえ授業内容や方法を見直す必要がある。
- ③指定期間終了後も現在関わっている企業や団体と連携を図っていくため、双方にとってメリットある関係性を構築していく必要がある。

事業3年目(令和5年度)の事業計画(案)

- ①専門的知識・技能を有する職業人材を活用した講義及び実践的研修
- ②研修(ICT,IOT を活用している農業施設, 農業機械を実地視察, 研修)
- ③施設見学及び実習など施設・設備の共同利用(産業界, 農業関連施設, 大学等)
- ④特別支援学校と連携した「乗馬交流(馬セラピー)」の実証研究
- ⑤デュアル派遣実習及び農業インターンシップの実施
- ⑥産業界等と連携した食品に関する新たな商品開発・販売, 収益活用のシステム構築
- ⑦海外の学校への訪問交流事業
- ⑧キャリア・パスポートの活用(指定期間において継続して活用)

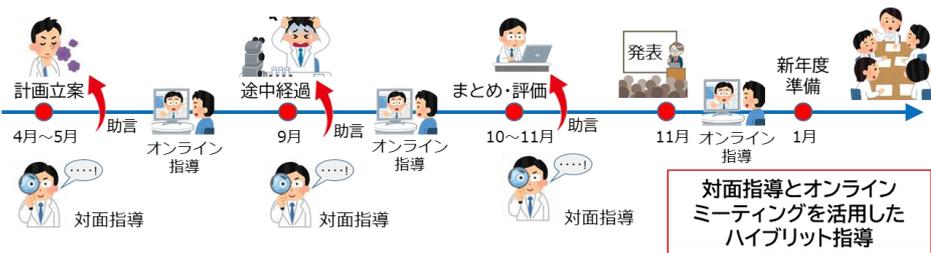
令和5年度の取組

プロジェクト学習の充実 (インプットした知識の活用)

育成を目指す資質・能力
自ら問題を発見し、筋道を
立てて考えたり、試行錯誤
しながら問題を解決する力

プロジェクト学習

- ・地域の課題解決に取り組む
- ・地域と共同して取り組む
- ・専門的職業人材と
連携して取り組む



授業内容や方法の見直し

専門的知識技能を有する

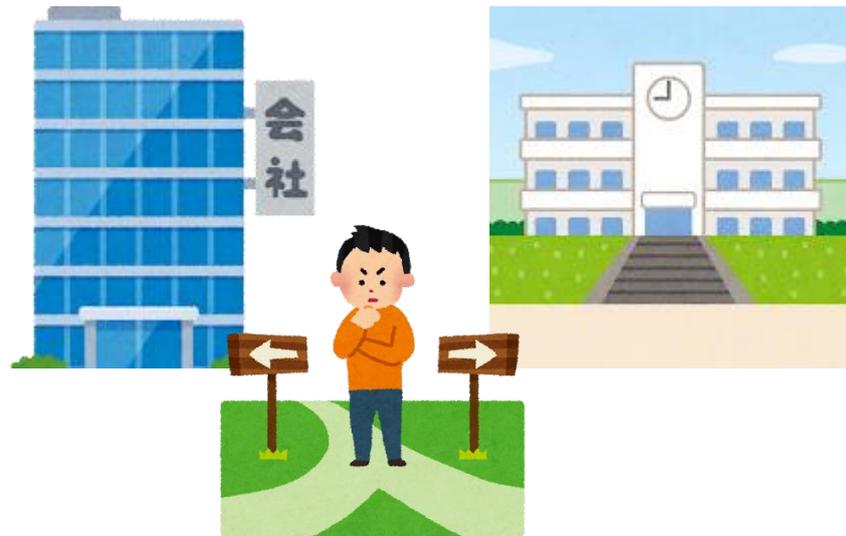
企業・団体

高度な専門的
知識・技術を期待

専門的職業人材を育成する

学校

基礎・基本的な内容
として教員が行う授業



機能分担の明確化 実施方法の選択

学科やコース、科目の
ねらいを達成

指定期間終了後を見据え・・・



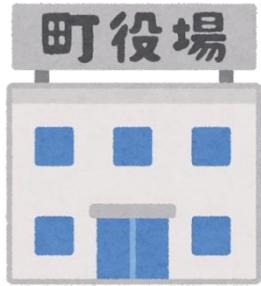
人材育成の理念の共有
双方にメリットある関係構築

2 指定校を中心とした、学校設置者・地方自治体・産業界の協働、連携体制についての状況や課題等

学校設置者・地方自治体・産業界の協働、連携体制

機関	協働・連携の状況
北海道 教育委員会 (学校設置者)	CEO、産業実務家教員の専任 運営委員会の準備、運営 「マイスター・ハイスクールだより」による啓 発活動
新ひだか町 (管理機関・自治体)	運営委員としての助言(新ひだか町長) 地域課題について考える学習機会の提供 町の特産品開発に関する連携
JAしずない (管理機関・産業界)	運営委員としての助言(副組合長) 日高の農業や就農対策の学習機会の提供 生産現場の見学のコーディネート

地域と取り組む特産品開発(新ひだか町山村活性化支援交付金事業)



- 関係機関と連絡・調整
- 事業費の調整
- 御披露目会の企画



- 特産品の試作研究
- 試験販売
- 製造企業へレシピ提供

食品製造企
業



特産品製造

静内農業高校 食品科学科2年生及び3年生



科目「商品開発Ⅰ」・「商品開発Ⅱ」

到達目標



地域ぐるみで 特産品販売



学校設置者・地方自治体・産業界の協働、連携体制

機関	協働・連携の状況
北海道 教育委員会 (学校設置者)	CEO、産業実務家教員の専任 運営委員会の準備、運営 「マイスター・ハイスクールだより」による啓 発活動
新ひだか町 (管理機関・自治体)	運営委員としての助言(新ひだか町長) 地域課題について考える学習機会の提供 町の特産品開発に関する連携
JAしずない (管理機関・産業界)	運営委員としての助言(副組合長) 日高の農業や就農対策の学習機会の提供 生産現場の見学のコーディネート

マイスター・ハイスクールで連携している主な企業団体等



3 マイスター・ハイスクールCEO、産業実務 家教員について

マイスター・ハイスクールCEO



桑名真人

- 副校長として常勤
- 前北海道農政部生産振興局技術支援担当局長
- マイスター・ハイスクール事業全体を統括
- 関係機関、団体との連絡調整

産業実務家教員



中西 信吾

- 常勤講師として在中
(週30時間)
- 前日本軽種馬協会静内種馬場軽種馬総合トレーニングセンター長(獣医師)
- プロジェクト学習を含めた教科指導、実習指導
- 馬術部における技術指導

終わりに

あなたの👍いいね! が静農を元気にする!



ホームページ

Facebook

instagram

Twitter



お知らせ
本校は、令和3年度～5年度にかけて、文部科学省「マスターハイスクール」指定校となり、持続可能な日高農業の創り手となる地域発次世代イノベーター人材の育成を目指します。